

災害対策特別委員会 静岡県 視察報告

概要

令和3年7月7日（水）、今村 雅弘 委員長を団長とする自民党調査団は、静岡県熱海市、沼津市・清水町を訪問し、7月1日からの大雨による被害状況について、現地視察・意見交換を行った。

調査団

今村 雅弘	災害対策特別委員長
佐藤 信秋	災害対策特別委員長代理
伊藤 忠彦	災害対策特別委員会事務局長
足立 敏之	災害対策特別委員会事務局次長
勝俣 孝明	衆議院議員（静岡6区）

日程

- 12:43 熱海駅着
- 13:00 静岡県熱海市役所 被災状況説明
【対応者】 齊藤 栄 熱海市長
越村 修 熱海市議会議員
高橋 幸雄 熱海市議会議員
野崎 正蔵 自民党静岡県連幹事長
木内 満 自民党静岡県連政調会長
杉山 盛雄 自民党静岡県連常任顧問
藤曲 敬宏 静岡県議会議員（熱海市）
静岡県議会議員
熱海市議会議員
- 13:45 静岡県熱海市 大規模土石流被災現場視察
- 15:15 静岡県沼津市・清水町 被害状況説明
【対応者】 頼重 秀一 沼津市長
関 義弘 清水町長
杉山 盛雄 県議会議員
沼津市議会議員
清水町議会議員
- 16:00 静岡県沼津市・清水町 黄瀬川大橋崩落現場視察
- 16:54 三島駅発

◆ 静岡県・熱海市役所 被災状況説明

<熱海市より被害状況報告等>

- 熱海市役所（熱海市議会議長応接室）において、齊藤栄熱海市長、越村修熱海市議会議長、高橋幸雄熱海市議会議員から被災状況、人命救助や避難者の支援などの喫緊の課題および今後の復旧・復興、生活の再建等の中長期的な課題に対する政府与党としての支援についての要望を受けた。

<被害状況について>

- ・ 熱海はそもそも災害に強いと言われていたので市民が驚いている。
- ・ 警察、消防、自衛隊による1,100人体制での捜索活動が続いている。
- ・ 2、3日前より、大きな石が上流より流れてくるなどの予兆があった。
- ・ 土砂が道路を寸断し、被災地域は陸の孤島のような状況。
- ・ 水道も断水中。
- ・ 熱海は危険であるとの間違ったメッセージが伝わり、ホテルや旅館でキャンセルが相次いでいる。

<今後の課題等について>

- ① 現時点では人命救助が最優先
- ② ライフラインの復旧（道路・水道等）
- ③ 500人を超える避難者への対応
- ④ 生活再建に向けた市役所における事務手続き等のマンパワーの不足
- ⑤ 風評被害への対応（災害名に「熱海」と入れない等の配慮）
- ⑥ 災害廃棄物の対応（陸路だけでなく海上も使うことも検討）
- ⑦ ホテルに避難している避難者への対応（ホテル代の負担軽減）
- ⑧ 有事の際の個人情報の取り扱い
（安否不明者や死亡者の氏名の公表には家族や遺族の同意が必要）
- ⑨ 携帯GPSの活用の緩和
（本人でなければ携帯のGPSの位置情報を利用できない）



<自民党熱海市支部からの要望聴取>

- 自民党熱海市支部より、熱海市伊豆山地区の土石流災害に対する国・県への要望を受ける。

<要望内容>

- ① 二次災害防止のための応急対策の早期実施
- ② 交通及び生活インフラの早期復旧に向けた事業の迅速な取組
- ③ 地域性と災害特性を考慮した避難所設置及び避難者への支援
- ④ 避難所における感染症対策の支援、避難者の健康確保支援等
- ⑤ 県営、市営住宅などを活用した迅速な仮設住宅の提供への協力
- ⑥ 災害廃棄物の処理、土砂の撤去、流木等の除去に対する支援
- ⑦ 観光業をはじめとする被災地域の復興に向けた支援

<自民党静岡県連令和3年7月豪雨災害対策本部からの要望聴取>

- 自民党静岡県連令和3年7月豪雨災害対策本部（本部長：塩谷立県連会長）の野崎正蔵副本部長（静岡県連幹事長）と木内満副本部長（県連政調会長）より、人命最優先での更なる救命救助活動への協力、被災地の生活再建・復旧復興に向けた支援の要請を受けた。

<要望内容>

- ① 被災者の救命救助及び安否不明者の捜索活動への協力
- ② 二次災害防止と下流保全対象への被害の拡充防止
- ③ 被災者の避難に対する支援と応急仮設住宅の早期併用への支援
- ④ 激甚災害指定による速やかな復旧復興に向けた支援
- ⑤ 土石流からの早期復旧
- ⑥ 被災者の生活再編と観光地熱海の復興
- ⑦ 地域交通に対する迅速な災害復旧の推進



◆ 静岡県・熱海市伊豆山地域 大規模土砂災害被災状況視察

○ 熱海市消防長ならびに消防団長の案内で、伊豆山地域の大規模土砂災害の被災現場の状況を視察。発生状況・被害状況について説明を受ける。

- ・ 川に並行して走っていた車道等も土石流により分からない状態。
- ・ 道路や川がどのような状態になっているのか分からないため、搜索活動が終了後の復旧活動について見通しが全く立たない状況。
- ・ 川を造成し道路をつくるために何をどうすべきか、何から始めるべきか等、判断がつかない。
- ・ 消防隊の服等を着た空き巣等が昨夜より発生しているとの報告。



◆ 静岡県 沼津市・清水町（黄瀬川大橋崩落：被災状況説明・現地視察）

- 国土交通省中部整備局沼津河川国道事務所より、黄瀬川の形状、今般の大雨による黄瀬川の増水、黄瀬川大橋の崩落に至った経過等について説明の後、頼重秀一沼津市長、関義弘清水町長、杉山盛雄県議より補足説明・要望を受けた。

【頼重 秀一 沼津市長】

（黄瀬川大橋）

- ・ 一般県道ではあるが旧国道1号線であり、沼津と清水を結ぶ重要な幹線道路として、住民生活や産業経済の要の道路。
- ・ 橋の崩落により、迂回路では大渋滞が起きている。
- ・ 普段使わない道路への迂回、特に住宅地内の細い道路における交通量の増加により、児童・生徒の交通事故も懸念される。
 - ※ 児童・生徒の交通事故も懸念されるため、教育委員会を通じ、登下校時の注意を呼び掛けている
- ・ 黄瀬川大橋の1日も早い復旧が望まれる。

（家屋流出・家屋浸水）

- ・ 護岸の崩壊による家屋流出の他、西部地区においては、一級河川高橋川において堤防からの越水により、336棟が家屋浸水する被害があった。これらの被害についても早期の対策。

【関 義弘 清水町長】

- ・ 重要な東西路線であるため早期の復旧が求められる
- ・ かねてより堤防高の不足が懸念されていた。
- ・ 黄瀬川は治水には非常に難しい形状である。

【杉山 盛雄 県議】

- ・ 沼津も多くの被害を受けているため、熱海と一体として激甚災害指定を受けられるようにしてほしい。
- ・ 黄瀬川大橋の早期復旧に向けて、国による直轄事業としての復旧を求める。
- ・ 黄瀬川の地形を考慮して治水対策・まちづくりを再考することが必要。



令和3年7月7日

自民党災害対策特別委員会
委員長 今村雅弘 衆議院議員 様

自民党熱海市支部
支部長 内田 進

熱海市伊豆山地区の土石流災害に対する国・県への要望

7月1日より降り続いた豪雨により7月3日に発生した熱海市伊豆山地区の土石流災害に関して、まずは国・県・市及び各種関係機関の連携のもと、安否不明者の特定及び被災者の救助救命に全力を尽くして頂いていることに対しまして感謝申し上げます。

この度、被災者及び避難者の当面の安全の確保及び被災者の復旧復興に向けた諸課題への取組につきまして、以下の通り要望いたします。

特に、今後当市が直面する課題として挙げられるのが、災害廃棄物の置き場や仮設住宅の設置場所の問題であります。現在は残土や災害廃棄物を限られた敷地の中で仮置きしておりますが、急傾斜地に囲まれた可住地面積の極端に少ない地域特性である当市では、仮設住宅の課題と同時に解決することが非常に困難でございます。

以上を考慮いただき、以下の点につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要望事項

- ・二次災害防止のための崩落現場及び周辺危険箇所への応急対策の早期実施
- ・被災地の交通及び生活インフラの早期復旧に向けた事業の迅速な取組
- ・地域性と災害特性を考慮した避難所設置及び避難者への支援
(避難場所として確保したホテル等の宿泊代への支援)
- ・避難所における新型コロナウイルス感染症対策の助言及び支援
- ・被災者及び避難者の健康確保支援や PTSD 等に対する心理的ケアの実施
- ・被災地自治体への職員の応援派遣
- ・県営、市営住宅などを活用した迅速な仮設住宅の提供への協力
- ・災害廃棄物の処理に対する協力及び支援
- ・復旧の目処が立ち次第、観光業を始めとする被災地域の復興に向けた支援
- ・伊豆山港に堆積した土砂の撤去、浚渫
- ・伊豆山沖に浮流している流木等の除去

令和3年7月7日

自民党災害対策特別委員会

委員長 今村雅弘 衆議院議員 様

自民党静岡県連令和3年7月豪雨災害対策本部

本部長（県連会長） 塩谷 立

副本部長（幹事長） 野崎正蔵

副本部長（総務会長） 佐地茂人

副本部長（政調会長） 木内 満

令和3年7月豪雨災害（仮称）への特段の支援を求める要望書

令和3年7月1日からの大雨により静岡県内各所において甚大な被害が生じています。

特に熱海市においては土石流の発生により多数の人命が失われ、未だ多くの安否不明者の捜索が行われておりますが、大量の土砂と二次災害発生のおそれもあることから関係各位の懸命の努力にも関わらず未だ被害の全容も明らかならざる状況にあります。

熱海市に対する迅速な災害救助法の適用及び自衛隊、海上保安庁等国の関係機関による迅速かつ献身的な捜索活動へのご協力に心からの感謝を申し上げますとともに、人命最優先での更なる救助救命活動へのご協力並びに被災者の生活再建及び被災地の復旧復興に向け

特段のご支援を賜りたく以下の通り要望いたします。なお、要望事項は7月7日までの被災地各級議員及び各支部からの聞き取りに基づくものであり各種法令及び事業への理解不足等についてはご容赦下さいますようお願い申し上げます。党本部より国に対し強力に働きかけて下さいますようお願い申し上げます。

1. 熱海市における被災者の救助救命及び安否不明者の捜索活動に対し引き続き特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 熱海市における土石流災害について二次災害防止と下流保全対象への被害の拡大を防止するため、崩壊地や荒廃溪流の早期復旧のための応急工事に対する災害関連緊急治山事業等を活用した速やかな予算措置等、特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. 被災者の避難に対する支援と応急仮設住宅の早期供用への支援について

(ア) 多くの住宅が完全に破壊されていること、二次災害への懸念から避難生活が長期にわたることが予想されること、健康への配慮が必要な被災者が多いこと、仮設的な避難所では新型コロナウイルス感染症等の感染拡大が懸念されること等から、本災害においては民間宿泊施設での避難を行っております。災害関連死を防ぐために必要不可欠な措置でありますことから、避難所の実態を勘案頂き災害救助法における福祉避難所としてのお取扱を幅広くお認めいただくとともに、本災害における避難に対し財政面での特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(イ) 急峻な斜面地が大部分を占める熱海市の地形的な特性から応急仮設住宅の迅速

な建設が困難であります。市営住宅及び県営住宅等の公営住宅を災害救助法に基づく応急仮設住宅としてお認めいただく等、早期の応急仮設住宅供用が可能となるよう特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

4. 本災害においては熱海土木事務所管内及び沼津土木事務所管内において甚大なる被害が生じております。同2土木事務所管内を一体の被災地と捉え激甚災害指定による速やかな復旧復興に向けた国の強力な後押しを賜りますようお願い申し上げます。

5. 熱海市における土石流災害からの早期復旧について

(ア) 土石流災害により寸断されている国道135号線の早期復旧をお願い申し上げます。また、国道135号線の一般車両の通行再開までの期間が長期に及ぶ場合は、代替道路として民営の熱海ビーチラインの借り上げによる一般開放等についても特段のご検討を賜りますようお願い申し上げます。

(イ) 各種災害復旧事業等の推進について特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

① 土石流災害により被害を受けた逢初橋を含む道路施設の災害復旧

② 逢初川の早期復旧と再度災害防止に向けた砂防事業ならびに河川事業の推進

③ 熱海港（伊豆山地区）の臨港道路、船揚場、船溜まり等に流れ込んだ土砂の浚渫や残土、がれき類の処理など港湾の早期復旧

④ 宅地に堆積した土砂撤去に関して、被害が大規模であること、土砂とがれき類の混交が顕著であること等から「堆積土砂排除事業」と「災害等廃棄物処理事業」の連携スキームの活用等による支援

- ⑤ 熱海市は急峻な斜面地が大部分を占めていること、被災地が急峻な傾斜地であり人力での土砂搬出が困難であること等からボランティアセンター運営において移動用バス、作業用軽トラック借り上げやサテライトセンター設置等の経費負担増大に対する財政的支援
- ⑥ 災害廃棄物処理への交付税措置嵩上げ
- ⑦ 伊豆山地区の水道復旧に向けた補助率嵩上げ

6. 熱海市における被災者の生活再建と観光地熱海の復興

- (ア) 被災者のうち就学児童生徒の学びの継続について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
- (イ) 土石流災害への報道が過熱していることから、災害と無関係な熱海市内の宿泊施設へのキャンセル等の影響が増大しています。風評被害の防止に対し特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症による観光業への打撃に加え、土石流災害による影響で観光業への更なる影響が懸念されます。観光地熱海の復興に向け特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

7. 熱海市以外の以下の箇所については被害が甚大かつ地域交通に与える影響が大きく、特に迅速な災害復旧事業の推進についてご支援賜りたくお願い申し上げます。

- (ア) 県道富士清水線（黄瀬川大橋）の災害復旧
- (イ) 県道川根寸又峡線（川根本町奥泉）における道路法面の災害復旧